



みことばを生きる

人生の一大転換、仏教から光なるキリストへ

吉永 英未 (イギリス)

★ 母の死から仏教へ

23歳で母を白血病で亡くした私は、30歳でイエス様に出会うまで、仏教徒として生きてきました。中国の大学院で学んでいたとき、母の死をきっかけに、歩み寄ってくださった仏教徒の方の影響を受け、仏教にのめり込んでいきました。

★ 終わりのない行為義認の世界

仏教では、今世で命が短いのは「前世」で悪いことをしたからといいます。母が亡くなってからずっと、私は六道のどこへ行ったか分からない母を探し続けていました。仏教の教える母の「罪を減ぼす」ため、母を「救う」ため、母の罪を償うため、私は毎日必死に念仏を唱えていました。中国語でお経を唱え、生きた魚やアサリを買っては中国の海や川にリリースしていました(中国語では「放生」といいます)。ベジタリアンになり、蟻一匹でも不意に殺してしまうと、後悔し、(仏教では輪廻転生を信じており、将来蟻に生まれ変わり殺される可能性があるため)一週間は思い出す度に落ち込んでいました。

★ 光に包まれた不思議な体験

2020年4月、東京で一人暮らしをする私は、暗い部屋で泣いていました。母が病に倒れた時、中国の大学院に留学することが決まっていた私は、その機会を諦めることができず、悲しそうに見送る母を背に、上海へと飛び立ちました。母が亡くなってからも、そのことが心残り、ふとした時に涙がとめどなく流れるのでした。この日も同じでした。

夕暮れも過ぎていた頃、窓から光が入ってきました。暖かい光に包まれ、あまりの心地よさにこの場所から出たくない、という気持ちになりました。光の先に、小さな船に乗った二人が見えました。その一人が母だと一目でわかりました。母は、何も言葉では話さなかったけれど、「えみちゃん、もう大丈夫だよ」と言葉なしで私に語りかけました。その横には確かに、光眩い人が立っていました。この人が、宇宙を作った本当の神様なのだ、確かに感じました。暖かい心地の良い光に包まれ、まるで優しさや愛にそのまま包まれているようで、その光の中にずっと留まっていたいと思いました。いつの間にか、光は私の前から消えてなくなっていました。

★ 光なるイエス様に導かれる!

翌日の日曜日、鹿児島から高校時代のクラスメイトが東京に来ているということで、ファミレスで会いました。私は彼に「昨日さ、光を見たんだよ。光に包まれてね。本当に天国にいるかと思ったんだ。」と話しました。話しながら、自分が泣いていることに気がつきました。「えみはもう、イエス様に出会ったのかもしれないね。」クリスチャンである彼はそう言いました。夕方になり、彼が鹿児島に帰るために空港へ向かうのでさよならを告げた時、私は言いました。「イエス様が誰とか、キリスト教が何かとかは知らないし、聖書も読んでこないけ

ど、昨日私が見た光は、本当の神様からの光だったんだ。宇宙をも作った神様。それは、私が毎日拝んでいる仏像じゃなかった。」

彼は、鹿児島行きのチケットをキャンセルし、東京に住む牧師先生と奥さんを私の小さな部屋に招きました。そして、私のために祈ってくださいました。祈られている間、なぜか涙が止まらなくなりました。そして、牧師先生は、「あなたは、イエス様を救い主として受け入れますか?」と聞きました。私は昨日見た神様は、真の神様であり、この神のことをきっと、イエスというのだと、信じていました。そして、「はい」と言いました。その瞬間、自分の中から全ての荷が下りたことを感じました。

これまで私が抱えていた母への罪悪感、母の罪、私の罪、悲しみ、すべてをイエス様が背負ってくれたんだ。イエス様は、私に、神様の姿を現してくださいました。

イエス様の愛を、私は心で感じました。イエス様は、私の心に、その御手で触れてくださった。言葉では表現できない、愛を感じました。

その日の夜、私は家にあった仏壇、仏像、お経の本など仏具の全てをまとめて処分することにしました。それらは母が亡くなってから私がすがりついて生きてきたものでした。私には、イエス様という本物の神様がいるから、もう、これからは必要ない。何も怖くない、と思いました。

その日から、世界が変わっていかないのだけれど、私の中に聖霊様が住まわれるようになり、私の生きる希望の光となりました。

★ 英国での宣教奉仕と聖書の学び

それから、4ヶ月間後、東京での仕事を辞め、地元の教会で洗礼講座を受けました。洗礼を受けて3日後、私はイギリス行きの飛行機に乗っていました。

現在は、フレンズ・インターナショナル (Friends International) という、イギリス国内に住む留学生に福音を伝える団体で奉仕しています。10年間海外で学び働いていた経験を神様は全て使われ、留学生に福音を伝えるという奉仕を神様は与えてくださったのです。

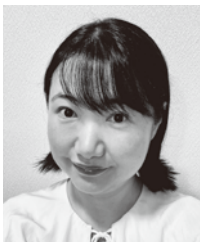
JTJでの学びは、日本でイエス様と出会い、洗礼を受けて3日目にイギリスに来た私を支え、母国語で聖書を学ぶ喜びと美しさを教えてくれました。これからもJTJの学びを、イギリスでの福音伝道に繋げていきたいと思います。



宣教団体の仲間たちと(筆者中央)



卒業生は今



今、新しく繋がる宣教の輪

Tree Home Church 牧師

吉池 理香 (東京都八王子市)

イエス様が私の居場所に

私は新潟で生まれ、同盟キリスト教団の附属幼稚園でイエス様に会いました。心の病であった母は不安定でした。私にとって神様の揺れ動かない、変わらない愛。イエス様が居場所になったのです。

「ザアカイ。急いで降りてきなさい。きょうは、あなたの家に泊まることにしてあるから。」(ルカ19:5)

小さな自分とザアカイが重なり、イエス様に飛び込みました。その時の喜びと平安は今も心に続いています。その時から神様を伝える人になりたいと思うようになり、今に継続中です。その後、子ども達に福音を伝えさせて頂き、同時に信仰の歩みの中で、孤独や差別や様々な経験を与えられました。イエス様が居場所の大切さを強く感じました。気がつくと、私の周りに心の病の方が沢山いることがわかりました。神様に祈り、開かれたのが「キリスト教カウンセリング」です。学ぶ中で「あなたの原点に立つ事」をしめされ、原点はイエス様。これまで3度の召命をもって、JTJ神学校に導かれました。そして卒業へ。2022年8月八王子にて「Tree Home Church」のスタートです。

「行って 実を結ぶ」ヨハネ 15章 16節

夫や家族、沢山の方々への祈りに支えられました。神学校を卒業する前から、神様に仕える&従う事を次々に体験させていただきました。とても苦しかったです。しかし、神様は悲しみの中で慰めも与えてくださいました。「そして、彼を外に連れ出して仰られた。『さあ、天を見上げなさい。』」(創世記15章)から、神様の祝福の約束、自分の思いや願いを越えた神様のご計画があるのだと、涙の祈りの中で強く示されました。私には想像もできない、神様のやり方で、神様の働きは前へ動く。それは、先が見えないトンネルで、苦しみ、悲しみから始まる。「創世記」で暗闇から光を造られた神様の導きと愛、さらに



水のほとりキリスト教会との合同礼拝



クリスマスコンサート



偉大さを突きつけられます。初めに、1人の方の救いを通して、「99匹と1匹の羊」のキリストの深い愛と憐れみ、そして神様の救いの御業の凄さを目の当たりにしました。

新しい型の宣教の輪へ

現在 神様の導きにより、「八王子水のほとりキリスト教会」の川満優太先生と教会が繋がっています。中野雄一郎先生から夫婦揃って祝福のお祈りをしていただき、心から感謝いたします。この繋がりは広がり、JTJ神学校卒業の牧師メンバーが中心となり、クリスマスコンサートなどで福音を伝えさせて頂いています。

神様により集められた仲間、罪人であつたにもかかわらず、また弱さの中にあつた時にイエス様に会い、愛され、赦されたそれぞれがキリストの十字架の愛に立つ時、自分の存在を受け入れることができた経験を持っています。神様の愛が実を結ぶ事を祈りながら、弱さの中に完全に働かれる神様の力と希望。これからも、色々な場所から集まり、キリストによって1つに繋がっていく、新しい型の宣教の輪を大切に歩んで行けます様に祈ります。

「喜んで仕える霊が、私をささえますように。」(詩篇 51 篇)

感謝します。ハレルヤ!



中野雄一郎先生から祝福の祈り



本の紹介



『旧約聖書におけるキリスト』

国際福音センター 東小金井チャペル 牧師

小山田 格

教えられました。本書においても、新約聖書の助けを得ながら、旧約聖書に書かれているメシア(キリスト)について理解していきたいと思ひます。

ある人々は、「旧約聖書の時代の人は、将来おいでになるメシアについては、まだよく分かっていなかったのではないか」と思ひかもしれませんが。ところが新約聖書の説明によると、旧約の時代のある人たちは、神によって教えられ、メシアの来られることを熱心に待ち望んでいたことがわかります。

私は1983年に米国留学から帰国して以来、「旧約聖書におけるキリスト」というテーマで、JTJを含むいくつかの聖書学校、神学校で教えてきました。旧約聖書にはいくつかの大切なテーマがありますが、これは最も大切なテーマであり、だれもが知らなければならぬテーマです。したがって、クリスチャンだけではなく、未信者の方にもぜひ読んでいただきたい内容です。現代の世界がなぜ混乱の中にあるのかも、この本を読めばわかっていたらと思ひます。

ぜひお読みください、またどなたにも、読むことをお勧めください。



『旧約聖書におけるキリスト』
小山田 格 著

いのちのことば社
定価(本体2,400円+税)

小山田先生が担当する「旧約聖書神学」の講義紹介動画が右記QRコードからご覧いただけます。

